

理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：寺本幸子 所属：横浜市立 都田西 小学校

課題名：自然や人とのかかわりを広げ、思いや願いを実現する子の育成

1. 課題の主旨

子どもは、人や自然、社会や文化などと係わる中で成長する。そして、そのかかわり合いを通して豊かな成長を成し遂げる。子どもの「学び」は他とのかかわり合いの中で大きく広がっていき、様々な事象との出会いを通して、自分を見つめ、今までの見方や考え方を発展させることができる。新たな見方や考え方は新たな問題の解決とつながっていく。

本研究を通して、自然や人とのかかわりを広げ、思いや願いを実現する子の育成をめざしたい。

2. 活動状況

(1) 研究の目的

○ 自然や人との関わりを広げ、思いや願いを実現する子の育成

身近な自然や関心を持ちながら、自らの思いや願いを実現する過程を通して生活上必要な習慣や技術を身につけさせる方策を探る。

○ 一人ひとりが進んで自然に働きかけ、自ら問題を解決していく態度や能力の育成

自然認識を深め、体感を十分に働かせる直接体験を重視して、そこから生まれた疑問や驚きを感動を持ってとらえ、問題解決の意識を高めていく方策を考える。



(2) 研究の方法

- (1) 自ら楽しさや喜びを発見し、友達の良さに気づき一緒に考えながら活動していくための学習教材と場の構成を考える。
- (2) 子どもの思いや願いをつかむ支援のあり方を考える。
- (3) 一人ひとりの興味関心を高め、発想を引き出す事物・現象との展開を考える。
- (4) 自ら問題解決をし、科学的な見方や考え方が育つ授業構成を考える。
- (5) 自然に効果的に触れさせるための素材の選択と教材化を考える。
- (6) 授業実践に基づいた観察・実験の効果的な指導の研究をする。



3 具体的な内容

(全校児童)

- ・校内のビオトープ、ミニビオトープを利用した水辺の生き物の飼育・観察
- ・江川せせらぎ水辺愛護会・都筑水再生センター等との連携による蛍の幼虫の飼育と放虫
- ・校内に設置した風力・ソーラー発電を利用した魚の飼育
- ・校内美化活動「クリーン大作戦」の企画と実施
- ・子どもエコ活動（節電・節水等）などの児童会活動の推進
- ・牛乳パックの回収活動、ペットボトルのキャップ回収
- ・環境をテーマにした催し物・コンクールへの積極的な呼びかけと参加

(低学年児童)

- ・身近な動植物（飼育小屋の動物、昆虫、草花）とふれあい、生命を大切にすることを育む

(中学年児童)

- ・飼育や観察を通して昆虫、植物のつくりを知り自然のすばらしさ・大切さを学ぶ
- ・ゴミを減らすことを目的とした学習を進め、資源の大切さを学ぶ

(高学年児童)

- ・自分たちの生活の様子に目を向け、問題や課題に気づかせる
 - ・自然資源を守る取り組みについて知り、実践する力を育てる
- (保護者)
- ・環境ボランティアによる花壇の整備、鉢栽培（通年）



3. 結果

校内にあるビオトープ・ミニビオトープ、風力発電・太陽光発電などを大いに活用し、なるべく身近な題材に目を向けさせ学習展開を行ってきた。また、各教科の授業の中に環境教育の視点を盛り込み組織的・計画的に学習を進めてきた。それらの一つ一つが子どもたちにとって貴重な体験となっていた。このことにより、子どもたちは身近な自然に目をむけるようになり、環境問題への意識も高まりつつある。

4. 今後の課題と発展

今回環境教育助成を受けたことにより、環境教育を推進するうえでの施設・設備が整い、環境教育カリキュラムも整備されてきた。今後はこれらをさらに効果的に活用して、子どもたちに自然と共生していくことの大切さ、環境を守るための意識を養っていききたい。そして、自然や人とのかわりを広げ、思いや願いを実現する子の育成にあたっていききたいと思う。